

三菱オゾン下水高度処理設備

オゾン処理水を中水道に利用

横浜市環境創造局殿 神奈川水再生センター (横浜市)

処理水量：5,100m³/日

処理目的：脱色・脱臭・消毒

オゾン発生量：2.1kgO₃/h×2台

オゾン濃度：50gO₃/m³(N)

供用開始(更新)：平成31年4月



▲ 神奈川水再生センター

オゾンによる下水高度処理について

神奈川水再生センターは、神奈川区、西区、保土ヶ谷区の大部分と鶴見区、旭区、港北区の一部を処理区としており、横浜市の人口の約7分の1の下水を処理しています。

処理水の一部をオゾンにより高度処理し、「入江川せせらぎ」や「滝の川せせらぎ」に供給しています。入江川は都市化により水量の減少が進んでいましたが、オゾンにより高度処理した処理水を入江川に流すことで遊歩道の整備や植栽を行い、現在はサギやカワセミも飛来する近隣住民の憩いの場として活躍しています。

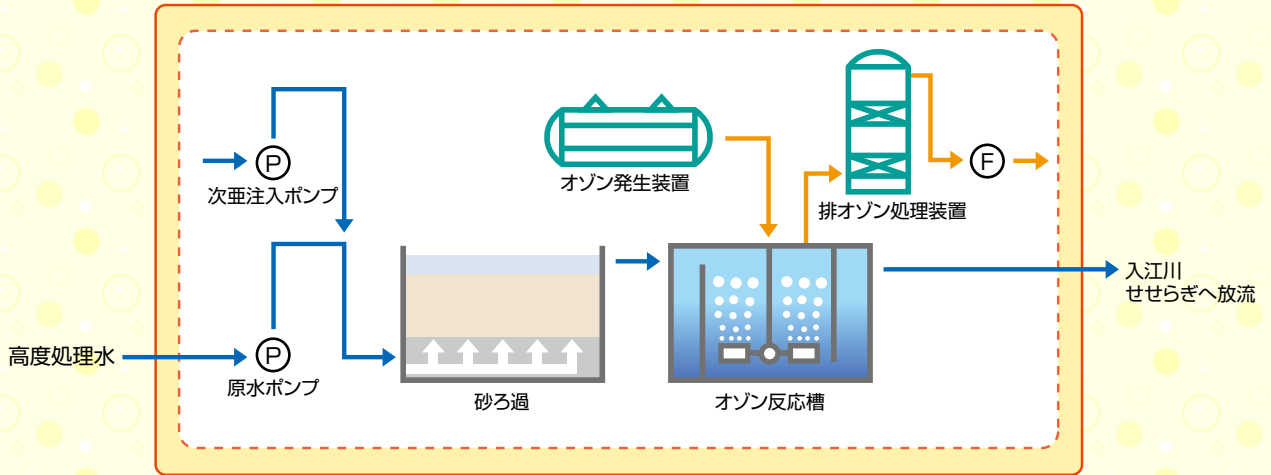


▲ オゾン棟



▲ 全景

下水高度処理設備実施例



▲ オゾン発生装置



▲ オゾン発生装置



▲ オゾン発生装置



▲ 空気圧縮機